

「担がん患者に対する苦痛のスクリーニング活用状況と今後の課題」へ ご協力のお願い

当院緩和ケア科及び緩和ケアチームでは「担がん患者に対する苦痛のスクリーニング活用状況と今後の課題」について研究を行っています。これは、がんと診断された患者様がどのような苦痛をどの程度感じているのか、苦痛のスクリーニングとして『生活のしやすさに関する質問票』を用いた問診内容の結果を集計するものです。

この研究は東京歯科大学市川総合病院倫理審査委員会において科学性と倫理性を厳密に審査され、病院長により承認されております。ご不明な点があれば遠慮なくご質問下さい。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 研究の対象

1. 2016年4月から2017年3月までに外来化学療法室で抗がん剤治療を受けた患者様
2. 2016年4月から2017年3月までに入院時にがんと診断されている患者様

2. 研究目的・方法

1) 研究の目的

がん診療連携拠点病院として苦痛のスクリーニングを行っていますが、それが周知されているのか、スクリーニングの活用はどの程度行われているのかを緩和ケアチームとして把握すべきと考えております。スクリーニング件数と緩和ケアに対する患者様の欲求を理解し、今後の緩和ケアチームの活動に活かすことを目的としています。

2) 研究の方法

苦痛のスクリーニングとして『生活のしやすさに関する質問票(当院改訂版)』を使用し、2016年4月から2017年3月までの1年間のスクリーニング件数から緩和ケアチームへの依頼件数を抽出し、依頼内容ごとの件数や診療科ごとの依頼件数を数値化・グラフ化して検証します。

3) 研究期間

倫理審査委員会承認後～2018年6月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

1) プライバシーについて

この研究を通じて得られた患者様の記録は他の患者様の記録と合わせて、貴重な資料としてまとめられます。今後、学会や論文等に発表されることもあります。患者様のお

名前やプライバシーに関する内容が漏れないよう細心の注意をお払い致しますので、患者様にはご迷惑をおかけ致しません。

2) 個人情報について

今回の研究では、患者様の氏名や住所など、個人情報につながるものは記録致しません。本研究で得られた情報については、研究の中止または終了後5年間保存した後に適切に廃棄いたします。

3) 研究計画書の開示

ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の資料等を閲覧または入手することができます。

4) 利益相反

企業との利益相反関係はございません。

4. お問い合わせ先

当該研究について患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

研究責任者、相談窓口とその連絡先

この研究について何かお聞きになりたいことがありましたら、いつでも下記の研究責任者または相談窓口にお問い合わせ下さい。

施設住所 : 〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

病院名 : 東京歯科大学市川総合病院

研究責任者 : 看護部 緩和ケア認定看護師 並木瑠理江

電話 : 047-322-0151